

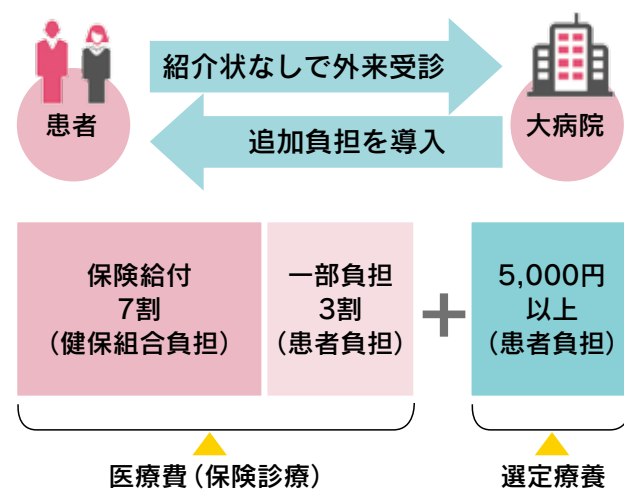
2016年4月
から

昨年5月、「社会保障と税の一体改革」の一環として成立した医療保険制度改革関連法の2016年4月からの変更点についてご案内します。

健康保険制度の一部が変わりました

紹介状「なし」での大病院受診時に追加負担を

ベッド数500床以上、または特定機能病院等の大病院を紹介状なしで外来受診した患者に対して、救急等を除き、初診料とは別に5,000円以上（再診時は2,500円以上）の追加負担を徴収することが義務づけられています。



※医療費の割合は70歳未満の場合（義務教育就学前は8割）。

入院時の食事代引き上げ

入院時に医療機関から提供される食事の費用については、従来、食材費相当額を患者が負担していましたが、在宅療養との公平性を図る観点から、調理費相当額も負担することになりました。

具体的な金額は、次のとおり2段階で引き上げられることになります。

●食事代の患者負担額（1食につき）

2016年度 360円	➡	2018年度 460円
----------------	---	----------------

※低所得者の負担額（従来100円または210円）と、難病および小児慢性特定疾患の患者については、従来どおり据え置かれます。また、2016年4月1日時点で、1年を超えて精神病床に入院している患者についても、経過措置として据え置かれます。

標準報酬月額の上限引き上げ

被保険者のみなさまの毎月の給与額を一定の区分にあてはめる標準報酬月額の、従来の上限である第47等級121万円は3等級引き上げられ、上限が139万円（給与等135万5,000円以上）となる50の等級区分になりました。また、同時に標準賞与額も見直されました。

●標準報酬月額上限

121万円 ➡ 139万円 標準報酬月額を3等級追加

●標準賞与額上限

540万円 ➡ 573万円 年間上限額を引き上げ

「患者申出療養」がスタート

日本国内では承認されていない医薬品等を迅速に保険外併用療養※として使用できるよう、「患者からの申出を起点とする新たな保険外併用療養のしくみ」として、「患者申出療養」がスタートします。

※保険外併用療養ってなに？

健康保険が適用されない医療を受けたときは、保険適用される医療を含めて、医療費の全額が自己負担になってしまいます。しかし、一定の条件を満たす医療であれば、保険が適用される医療については保険診療となるしくみのことです。

傷病手当金・出産手当金の基礎となる額の見直し

算定の基礎となる日額が、直近12ヶ月間の標準報酬月額の平均額の30分の1となります。

健康保険料率の上限が引き上げ

健康保険料率の上限が、これまでの「1,000分の120」から「1,000分の130」へと引き上げられています。

ご家族（被扶養者）および任継・特退のみなさまへ

2016年度 日立健保健診のご案内を送付しています

2月中旬から、ご家族（被扶養者）および任継・特退のみなさまのご自宅へ「2016年度 日立健保健診のご案内」を送付しています。

- ♡ 2月の初回発送は、1世帯に1冊の送付となります。
- ♡ ご案内が届かない場合は、下記、日立健保 健診コールセンターへお問い合わせください。
- ♡ 健診制度・受診方法の変更はありません。契約健診機関の一部に変更があります。
- ♡ 内容をよくご確認ください。健診をお申し込みください。



▲ピンク色の封筒です。

日立健保オリジナル健診メニューのご紹介

日立健保 契約健診機関で受診できる、オリジナルの健診メニューをご紹介します。

※受診できる健診機関、およびその他のコースにつきましては、「日立健保健診のご案内」でご確認ください。

レディース健診

◆検査内容◆

女性特有のがん（子宮頸がん・乳がん）、急増している大腸がんの検査と基本検査をセットにした健診です。

◆個人負担額◆

一律 3,000円（税込）

◆対象者◆

日立健保加入の30歳以上の本人および家族（女性のみ）

◆受診できる機関◆

日立健保 契約健診機関のみ

ミニドック

◆検査内容◆

生活習慣病予防に着目した健診。罹患率の高い胃がん検査・大腸がん検査と基本検査をセットにした健診です。

◆個人負担額◆

一律 3,000円（税込）

◆対象者◆

日立健保加入の30歳以上の本人および家族

◆受診できる機関◆

日立健保 契約健診機関のみ

日立健保 健診コールセンター

TEL 0120-35-1110 受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）